

2020年度 法科大学院

第1期入学試験問題

2時限

民法

(論文式)

試験時間 50分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。
11. 平成29年改正(「民法(債権関係)改正」)および平成30年改正(「成年年齢引下げ」および「民法等(相続法)改正」)の民法(以下「改正民法」という。これに対し、改正民法以前の民法を「改正前民法」という。)に基づいた出題を行います。ただし、改正民法または改正前民法のいずれに基づいて解答してもよく、改正前民法に基づいて解答しても不利とならず、減点もしません。

[民法]

設問

Xは、Y建設会社に、住宅の建設を、期間6か月、価格2000万円で依頼した。Yは、契約に従い、建物の建設を進めていたが、建物の建設を始めて5か月がすぎ、工事の9割ほどが終了した時点で、建設中の建物は、火災により全焼した。建設中の建物の全焼が、次の(1)～(3)の原因によって生じた場合におけるXY間の法律関係について論じなさい。なお、問題の検討にあたって、場合分けが必要な場合には、場合分けをして答えなさい。

- (1) Yの従業員が休憩中に吸っていたたばこの残り火による場合
- (2) Xが建物の建設を見に来た際に吸っていたたばこの残り火による場合
- (3) 近隣からの火災の延焼による場合

(解答は全て解答用紙に記入すること)